

江別商工会議所 ななかまど通信

日商景気観測調査 9月調査結果

業況DIは、緊急事態宣言延長の影響が続き、悪化 先行きは、日常生活回復への期待感も、厳しさ続く

日本商工会議所が発表した9月の全産業合計の業況DIは▲33.2と前月から3.8ポイントの悪化。

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期間延長に伴う、営業制限、イベント中止等の影響が続く中、客足が遠のく飲食・宿泊などのサービス業や小売業が悪化した。また、製造業では、半導体不足や東南アジアでの感染拡大を背景とする部材調達難など生産活動への影響を指摘する声が聞かれた。公共工事に下支えされた建設業は底堅いものの、鉄鋼や木材などの原材料価格の上昇、天候不順による野菜価格の上昇が業況の押し下げ要因となるなど、中小企業の景況感は一段と厳しい状況にある。

先行きについては、先行き見通しDIが▲31.0（今月比+2.2ポイント）へ改善。

ワクチン接種の進展に伴い、政府から日常生活回復の方針が示され、経済活動正常化への期待感が広がっている。一方、当面の間は感染対策が求められ、受注・売上減少や客足回復の遅れが継続することから、経営への影響を不安視する声は多い。さらに、半導体不足や部材調達難を受けての生産調整、原材料価格上昇分の価格転嫁の遅れ、最低賃金引き上げに対応しての人件費の上昇などもあり、中小企業の先行きへの見通しは、厳しい見方が続く。

ブロック別では、北海道地区が ▲26.4 と、前月から 0.6 ポイント改善。

◎建設業では、木材や鋼材等の資材価格の高騰により採算の悪化が続くものの、底堅い公共工事や持ち直しの動きが見える住宅投資が下支えとなり売上は改善。一方、小売業では、緊急事態宣言の延長を受けた消費者の外出自粛等の影響を受け、百貨店を中心に客足が減少したほか、スーパー等の小売店では、全国的な天候不順に伴う野菜価格の高騰を受け、仕入価格が上昇し、採算が悪化した。

※全国 337 商工会議所が 2,644 企業にヒアリングを実施

「第35回 ビジネスEXPO」のお知らせ

北海道技術・ビジネス交流会実行委員会では、新技術・新製品の紹介や商談を通じて、新たなビジネスチャンスなど“魅力的な場”を提供する第35回ビジネスEXPO（北海道技術・ビジネス交流会）を、開催します。今年は、「持続可能な未来創造に向けて～新たな北海道ステージの扉を開く～」をテーマに、感染症対策をしっかりと行った新北海道スタイル展示会として開催します。また、アフターコロナを見据え、北海道の未来に向けた新たな価値・サービスを発信するSDGs・未来創造ゾーンを新たに設けます。ご希望の方におかれましては、ご来場ください。

- | | | |
|----|---|---|
| ○日 | 程 | 11月11日（木）10:00～17:30
11月12日（金）9:30～17:00 |
| ○会 | 場 | アクセスサッポロ（札幌市白石区流通センター4丁目） |
| ○対 | 象 | 民間事業者、大学、公設試験研究機関等 |
| ○入 | 場 | 料 無 料 |
| ○主 | 催 | 北海道技術・ビジネス交流会実行委員会 |

※セミナーの申込み等イベント詳細は、本事業ホームページをご覧ください。